

鎌倉

つれづれ

(49)

キンラン ギンラン

池田正弘

梅雨入りきひかえた鎌倉の山もいよいよ緑が深まってきた。昭和30年代の半ば位から新炭材を伐り出さなくなった山は松林の疎林から今では典型的な常緑照葉樹林となった。

鶴岡八幡宮の大臣山もシイ、タブを主な樹種とする常緑広葉樹の極相に近くなっている。東京堂出版の鎌倉辞典には大臣山の項で「明治六年明治天皇の臨幸御野立所社頭で陸軍歩兵の團兵分別式 大臣山に登臨し大敵の攻防対抗火入りの演



樹下のキンラン



山中のキンラン

習を天覽」と記されている。おそらく当時は松林で山頂から浄妙寺方面から押し寄せる部隊を雪の下で迎え撃つ演習の様子が見渡せたのであろう。その事績を記す石碑が御本殿右の大臣山登り口に立っているが今の山容からは想像できない。これは大臣山だけではなく鎌倉の山、全域について言えることだろう。

ここに戦後すぐは鎌倉でも炭焼きの指導員が養成されて炭の増産が奨励された。新炭材として山の木々はほとんど切り取られて消えていった。エビネ

キンランはキンランよりは少し乾き気味の場所が好きで花の色は白。ギンランは群生はしない。が周りを見渡せば意外と近くに数株は見つけられることがある。キンランもギンランもラン科キンラン属の近い仲間である。性質は似ていてどちらも庭や植木鉢での栽培は困難である。花を切って帰ると次の年には咲かないか株が消滅している。

キンランとギンランの花を何時までも楽しむには切ってはいけない。掘って持ち帰ってもいけない。他人に咲いている場所を教えるはいけない。花の時期に一人で秘密の場所に行き、一人で静かに鑑賞する森の貴婦人である。

「津波が来たら高台へ走れ!」

津波避難の大切さを伝え、被災地復興を願う「第一回復幸男女決定戦」が5月15日、逗子市久木の法性寺で開かれたII写真。同寺の山門前から本堂までの約1500mの登り坂にコースが設けられ、スピードを競う男女別のレースと、自分のペースで登坂する「復幸ラン」の2部門に約60人の選手が参加した。

「津波が来たら逃げる」のかけ声を合図に、選手らは一斉にスタート。「復幸ラン」では子どもを背負った人が1分4秒、車イスをけん引したグループは2分24秒のタイムでゴールした。

「津波が来たら逃げる」の客でにぎわった。「復幸男・女」は、横須賀の武田健太さん(35)が32秒、逗子の森川由佳さん(51)が52秒それぞれ1位、娘の森川怜美さん(12)も2位となり親子入賞に笑顔を見せた。(K)

「復幸男・女」は、横須賀の武田健太さん(35)が32秒、逗子の森川由佳さん(51)が52秒それぞれ1位、娘の森川怜美さん(12)も2位となり親子入賞に笑顔を見せた。(K)

6月12日鎌倉で50周年記念行事

裏千家淡交会 鎌倉青年部

裏千家淡交会鎌倉青年部の発会50周年記念の催しが6月12日鎌倉プリンスホテルで開かれる。

淡交会青年部は、50歳以下の裏千家茶道愛好者を会員とする文化団体で、裏千家第15代騰雲斎景観重要建造物等保全基金の「旧鎌倉図書館」に組み入れられる。

松尾景観市長は、保存に向けた市民の思いを称え、「登録有形文化財の指定を目指すことも活用する」と話した。

同会では、「多数の皆様からの寄附を、旧鎌倉図書館を有効活用して市に手渡すことができよう」と話した。

これからも市の取組みを注意深く見守っていくことが大切と話している。

40周年花展に6千人いけばな小原流

鎌倉支部

北鎌倉の円覚寺でいけばな小原流鎌倉支部(茅好美支部長)の40周年記念花展が4月29、30の2日間行われ、約6千人の来場者があったII写真。

テーマは「かまぐら谷戸の風」。大方丈と松院の2会場に一人一席ずつの合計95点が展示された。大方丈の方丈の間、大書院の間、小書院の間には厳かな雰囲気合う

父の日や敬老の日のプレゼントにも最適!

会話ラクラク、気持ち通じる音声拡聴器

耳の不自由な母と話したいという思いで開発された「クリアーボイス」は、聴きたいときに耳にあてるだけで相手の声が大きくなり聞き取りやすい。1998年の発売以来、愛用されているロングセラー商品で、全国の病院や銀行、市役所などの窓口にも採用されている。9,800円(税別)。さらなる性能を追求した「骨伝導クリアーボイス」は、「骨伝導イヤホン」や別売りの「骨伝導ヘッドホン」が、集めた音を骨から内耳に直接伝え、鼓膜に負担をかけずによい聴こえを実現する。18,857円(税別)

骨伝導クリアーボイス

握るだけの簡単操作
離すと電源オフで経済的
幅47mm×高さ111mm×厚み28mm
重さ70g/充電式/連続使用時間:40時間



「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金



「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金



「旧鎌倉図書館」とも基金

「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金「旧鎌倉図書館」とも基金